

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 2月 29日

事業所名 放課後等デイサービス あすなる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・構造化を行いスペースの有効利用を工夫している ・各種感染症予防の観点から対応している	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・法定上の人員配置と加配人員を配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		・肢体不自由の児童はいないが、安全点検を行い、子どもの動線をわかりやすくし、構造化を心掛けている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・随時ミーティングを行ったり、定期的な研修を行っている ・個人の目標設定を明示し、適正に評価しながら改善を心がけている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・評価項目一つ一つの対応を記し、保護者に配布している ・改善点についての検討会議を実施している	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会議やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページへの自己評価の公表を行っている ・自己評価結果に特化した会議で職員へ周知し検討を行っている	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		・外部評価委員を設置し、評価結果について相談している	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・毎月1回の研修日を設け確実に実施している ・職員が研修についての感想、評価を毎回行い記録表を作成している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・アセスメントの実施⇒モニタリング会議の実施⇒相談支援専門員や関係機関との担当者会議を経て、放課後等デイサービス計画を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・保護者の同意を得て各種検査結果を閲覧させていただいている	・新規利用の児童に関してはアセスメントツールを活用して実施する予定
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	△		・主として児発管が行い、主任を中心としたチームで検討しながら立案している	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・ルーティンの活動と、新しい活動を組み合わせて、個々の発達を促すことを目標として発展させるよう工夫している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○		・平日は放課後の過ごし方、土曜日、長期休業は、休日にできることを中心として課題設定をし、支援している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	△		・個別活動・集団活動を適宜組み合わせている ・外遊び、リトミックなどの集団活動を企画している	・個別活動が固定化しやすく、発展性に欠ける面が課題であるため、計画的な個別活動の提示を工夫する必要がある
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	△		・子どもの実態の応じて個別、集団での支援計画を作成している	・職員の勤務時間の変動的であることから、一堂に会して確認できないことがあるので、毎日必ず「活動計画」を紙面で各自確認するように工夫している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	△			・送迎業務があり、勤務終了時間がまちまちであるため、療育記録を確実に記して各自確認することにより補うことが必要
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・活動記録は当番制で確実に記録し、次の日に課題検討するようにしている	
関係機関や保護者	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	△		・誕生月から半年ごとにモニタリングを行っている	・モニタリング結果を基に計画化し、職員会議により随時見直しを行う必要がある
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		・総則の基本活動に則り、地域社会との接点を多く模索することや、創作活動、余暇活動の提供等に力を入れ、必要に応じて保護者支援を行っている	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理者が実態をまとめて出席している	
	21	学校との情報共有（年間行事・行事予定等との交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		・支援学校からの情報提供はある程度ありが、小中学校からはほとんど無い ・学校により対応が違いすぎ、当方からの要請か、保護者経由でしか状況把握ができていない現状がある
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			該当なし	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に務めているか	○		・新規利用者の通園、通所していた園に出向き、観察させてもらったり、活動状況についての情報共有を確実にやっている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか		○		・情報提供の用意はあるが、要請されたことがない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	△		・施設長が個人的に問い合わせたり、公的研修に参加したりしている	・機会を設けて研修を企画する必要がある
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	△		・保護者の意見としては、あまり希望していない面がある ・公園や、外出計画の際にふれあう機会を設ける努力をしている	・両者とも療育時間を使って交流の機会を計画することは困難な面も多いが、社会的要請を受けて、今後企画したい
	27	(自立支援支援) 協議会へ積極的に参加しているか		○		・参加したいが方法が分からない ・案内がほしい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・今年度から保護者会を開催した ・連絡帳への記載や送迎時に情報共有を行っている ・相談があったときや必要に応じて対面、電話、ライン等の方法で情報共有を行っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		・相談活動だけではなく計画的なペアレントトレーニングを行うと良い
保護者への説明責任等	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・利用開始時、変更が生じた際には必ず行うようにしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・対面、電話、ライン等の方法により助言及び支援を行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・保護者会を開催し、子どもと保護者同士の情報交換の場を設けている	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・湖上処理の体制を整備している ・利用開始時に説明を行っている ・通信により周知を図っている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月、通信の発行、ホームページのブログにおける情報発信を続けている	
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・通信やHPへの写真の掲載について毎年保護者の了解を得る調査を行っている	・毎年状況が変化することを想定し、年度初めに調査する必要がある
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・行事の度に個別に写真を送信したり、活動の様子を知らせる工夫をしている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・地域住民を巻き込んだ活動を企画する必要があるが、方法を模索している段階である
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・保護者には通信を通して周知し、事業所での自由閲覧を促している ・職員間の共通理解を行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・月に一回、定期的に避難訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・定期的に職員研修を行っている ・毎月一回、虐待防止委員会を開催して職員内のチェック体制を確認している	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・定期的に職員研修を行っている ・毎月一回、適正身体拘束委員会を開催して職員内のチェック体制を確認している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	△		・医師の指示書はないが、保護者を通して、厳重に対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハット報告書を作成し、全員が確認印を押して確認するとともに、改善方法の確認を行っている	

○この「児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。